



令和に求められる資質・能力を育成する授業づくりへの羅針盤

～授業で力をつける～

さると いささ あつたかい
高知家の教育

発行

R7年1月

西部教育事務所



講座 HP

国語科 第2学年 単元名「分かりやすく伝えたいな!○○のこと」

(教材「どうぶつ」カードを作ろう 東京書籍)

単元の目標

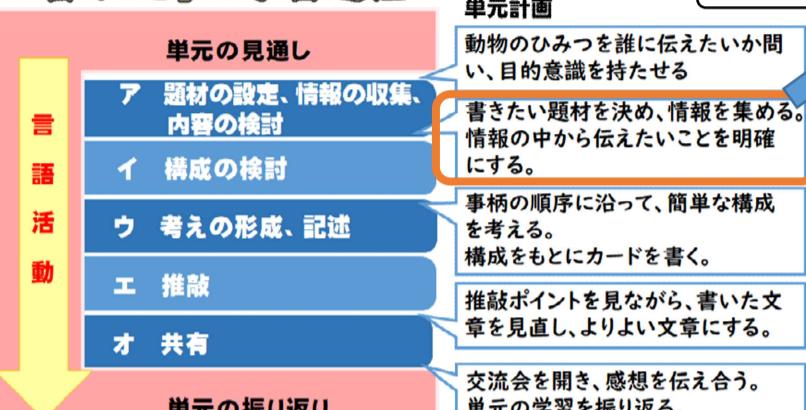
- ◆共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。【知識及び技能】
- ◆経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができます。【思考力、判断力、表現力等】
- ◆言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合うとする。【学びに向う力、人間性等】

「書く力」の育成を目指して

本単元では、前単元の「読むこと」の領域である教材「ビーバーの大工事」の学習との関連を図り、興味をもった動物のひみつを調べ、伝えたいひみつを明確にして書く力の育成を目指しました。

今回の単元においては、学習過程のア 題材の設定、情報収集、内容の検討を重点とし、教材研究会では、その学習過程における「見方・考え方」を働きかせた児童の姿について参観いただいた先生方とともに協議を行いました。

「書くこと」の学習過程



協議において、提案された「見方・考え方を働きかせた児童の姿」が身に付けさせたい資質・能力の育成につながるのか、学習指導要領解説で確認しながら考えていきました。学習活動において、児童がどのような思考をするのか、**具体的に児童の姿をイメージ**することで、資質・能力の育成につながる「見方・考え方」が明確になりますね!

また、このような児童の姿が見られる中で、しっかりと対話を通して自分の考えに対する理由を述べる子どもの姿も大切にしていきたいなどの意見もありました。

本時の目標(4時間目/全9時間)

集めた情報をもとに伝えたいことを明確にすることができる。

Point!

書き出した事柄を見て、書こうとする題材に必要かどうかを確かめることが重要である。**書こうとする題材に必要かどうかを判断すること**を通して、伝えたいことを明確にすることができます。(学習指導要領解説 1・2年生)

宿毛小学校が提案するアの学習過程における

見方・考え方を働きかせた児童の姿

- ①経験したことや想起したことから書きたいことを見付けている姿
- ②書こうとする題材に必要な事柄を集めている姿
- ③書こうとする題材に必要な事柄かどうかを確かめ、伝えたいことを明確にしている姿

知りたいことに関する言葉を探しながら図書資料を読んでいる姿(①)

調べたい動物に関して驚いたことや不思議に思うことなどを見つけて付箋に書き出している姿(②)

教材研究会を受けて考えた

見方・考え方を働きかせた児童の姿

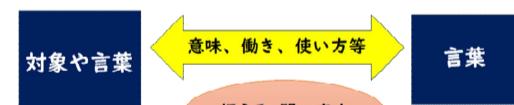
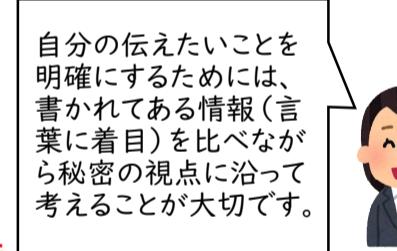
- ①自分の経験から書きたいことを決め、それをなぜ選んだのか理由をノートに書き出している姿
- ②調べたい動物に関して驚いたことや不思議に思うことなどを見つけて思考ツールやノートに書き出している姿
- ③集めた情報の中から秘密の視点に沿って、自分の伝えたいことを明確にしている姿(本時)

授業者: 奥 幸憲 教諭

研究協議の中で考えた姿



伝えたい観点に合った内容かどうかを判断している姿(③)



まずは、自分で伝えたいひみつをきめます。



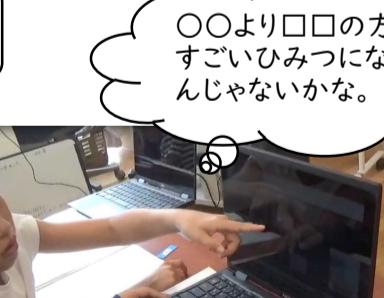
タブレット端末を使って、クラゲチャートに集めた情報の中から、伝えたいひみつを選んでいます。

対話のモデル



なぜ、それに決めたのか理由が言えるといいね。

友達との対話を通して、ひみつになりそうか考えていきます。



この△△は、一番「すごい」ひみつになりそうだな。

なぜ、それを選んだの?

どこからそう思うの?

活用内容と思考ツールの妥当性、考え方の変容を見ることで引き出したい子どもの考え方などそれぞれの活動において授業者が明確にもっておく必要性を感じた。

参加者の声

単元をつくる際に終末時にどのような姿があればよいのか思い描く。そして、そこに向けて学習過程の中でどのような見方・考え方方が働けばよいかを考える。その部分が今回の講座でより明確になった。

必要な対話と、対話の進め方、特に理由や根拠を伝える姿を想像しながら授業づくりをしたいと思う。

